

本日(2.20-21)48時間の非協力安全確認行動に決起しよう



85. 2. 20

No. 1869

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二七二〇七

当高は非人間的な603提案を撤回せよ

当局は2月15日、「60・3ダイヤ改」に関する修正提案を行った。しかし、それはわれわれの要求とはほど遠い内容であるばかりか、2月19日をもって団体交渉打ち切りを表明している。動労千葉は、殺人的労働強化と人減らしの「60・3」強行の暴挙に対し、2月20/21日、断固として非協力・安全確認行動の第一波闘争に決起する。

要求とはほど遠い修正案は認められない

当局は、「60・3」において改悪した動乗制の実施をとおして、乗務員に対するさまざまな労働強化を強要するとともに、この「効率化」により運転関係で三〇九名、実に動力車乗務員約八〇〇名中二三〇名の人減らしを強行し、加えて蘇我機関支区、成田運転区の廃止、縮小を提案してきた。

われわれは、団体交渉を中心に全力で闘いぬいできたが、当局は「提案したものは一歩もゆずらない」「地方毎の判断は認めない」との基本方針のもとに地方局をしめつけ、何ひとつ誠意ある回答を示さず今日に至った。

そして2月15日、当局は「60・3」に関する修正提案を行ってきたが、修正提案の内容は、われわれの要求とはほど遠いものであり、しかも2月19日をもって団体交渉を打ち切ることを表明し、「60・3」を強行せんとしている。

超勤交番、ロングラン、大型仕業、ダブル泊、待合わせ時間の削減等、さまざまに労働強化した「60・3」が提案どおり実施されたならば、乗務員の精神的、肉体的疲労はたちどころに限界をこえ、重大事故に直結することは明らかだ。われわれは、乗客と自らの生命を守る運転保安の立場からも断じて認めることはできない。

安全運転を無効にする
国鉄千葉動力車労働組合 60・3ダイヤ改悪

安全確認行動に
私たちが反対します

大量首切りと
運賃値上げでは解決しない

私たちが闘います

動労千葉 ▲数万枚のビラで乗客に訴える。



青年部も先頭にビラマキ (千葉駅 2月18日)

大量の「過員」を生む「60・3」を許すな

動労千葉は2月16日、第11回執行委員会を開催し、2月15日の修正提案は認められないことを確認するとともに、2月18/19日に要員、基地問題「過員」対策を軸に要求を対置し、団体交渉による解決を強く要求し、要求が前進しない場合、および当局が一方的に交渉を打ち切ってくる場合は、第3回、第4回支部代表者会議の決定に基づき、2月20/21日に非協力・安全確認行動の第一波闘争に決起することを決定した。闘争体制確立の指令をうけた全支部は、一斉に「60・3」阻止の第一波闘争にむけ様々な取り組みを開始している。すでに、各支部とも全組合員に対するオルグを展開し、職場集會がかちとられている。

2月18日には、青年部が千葉、船橋、新小岩、津田沼の各駅頭でビラまきを貫徹し、労働者市民に理解と協力を呼びかけた。19日以降は、全支部が最寄駅でビラまきを行う。

われわれは、非人間的な労働強化を強い、大量の「過員」を発生させる「60・3」を断固として拒否する。

当局の暴挙に対し、2月20/21日の両日、満を持して非協力・安全確認行動に決起し、「60・3」に抗議し、撤回を要求して闘うものである。